

4 安心・安全と交流を支える基盤整備

【現状と課題】

■ 広大な面積と二つの大河川

京都丹波地域は、京都府の中央に位置し、その面積は1,144.28km²と京都府全体面積の24.8%を占める広大な地域であり、桂川と由良川という二つの大河川の分水嶺を有しています。

桂川は京都市左京区広河原を源流とし、日吉ダムを経て亀岡盆地をはじめ南部地域に広がる田園地帯を潤し、保津峡を経て淀川に合流し大阪湾へ注いでいます。一方、由良川は南丹市美山町の東部に広がる山間地域を源流とし、大野ダムを経て高屋川と合流しながら日本海に注いでいます。

この地域は、広大な山間地域と二つの大河川の流域が広がっていることから、自然災害の脅威が大きく、洪水・土砂災害対策のより一層の推進が課題です。

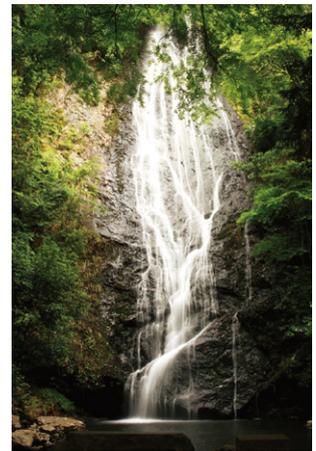
■ 多様な地域と豊かな自然

桂川・由良川の沿川には、芦生原生林、るり溪、琴滝、保津峡や田園地域等があり、豊かな自然環境に恵まれた優れた景観や貴重な観光資源が点在しています。また、大都市近郊地域は都市化が進む等、異なる特色を持つ地域が混在しています。

山林の荒廃が懸念される等里地・里山の環境が変化しつつある中、新規国定公園の指定等による豊かな自然環境の保全再生を実現し、次世代に継承することが望まれています。



保津峡



琴滝

■ 地域の個性をいかす交通網

京都丹波地域を貫く交通網として、平成22年3月にJR山陰本線(嵯峨野線)京都-園部間の複線化が、また、平成25年4月には京都第二外環状道路が開通し、平成27年7月には京都縦貫自動車道の丹波IC-京丹波わちIC間が開通します。鉄道と道路による京都市域及び中丹・丹後地域との結び付きが一段と強まり、交通利便性が向上するとともに、特に、京都縦貫自動車道の全線開通により、京阪神の主要都市と結ばれる高速交通ネットワークが完成します。

今後は、多様な地域の個性をいかしつつ、地域間のより一層の連携に資する基盤整備が、また、京都府の中央に位置することから、交通の結節点として、京都市、福知山市、綾部市、兵庫県篠山市、大阪府豊能郡及び福井県大飯郡等、東西南北それぞれの隣接地域との交流を促進する基盤整備が求められています。

京都縦貫自動車道整備経過(南丹管内分)

時期	整備経過
昭和62年	高規格幹線道路として位置づけ
昭和63年	[千代川IC~亀岡IC](暫定2車線)、【亀岡IC~沓掛IC】(4車線)が完成
平成5年	丹波綾部道路事業化
平成8年	京都丹波道路【丹波IC~千代川IC】(暫定2車線)、【千代川IC~亀岡IC】(4車線)が完成
平成13年	京都丹波道路【八木西IC~千代川IC】(4車線)が完成
平成14年	京都丹波道路【園部IC~八木西IC】(4車線)が完成
平成20年	丹波綾部道路【綾部安国寺IC~京丹波わちIC】(暫定2車線)が完成
平成25年4月	京都第二外環状道路【大山崎JCT~沓掛IC】(4車線)が完成
平成27年7月	丹波綾部道路【京丹波わちIC~丹波IC】(暫定2車線)が完成予定(京都縦貫自動車道全線開通)



高速道路の整備状況

【具体的な施策の展開(15)～(18)】

(15)安心・安全な災害に強いまちづくり

近年、集中豪雨が多発し、毎年のように全国各地で洪水や土砂災害が発生しています。特に、京都丹波地域においては、平成25年9月の台風18号等により甚大な被害がありました。

こうした状況を踏まえ、京都丹波地域においては、広大な山間地域と桂川と由良川の二つの大河川を有することから、今後ともまちづくりと一体となった河川改修を計画的に進めるとともに、災害発生時において、必要とされる道路ネットワークを確保すべく整備を推進し、安心・安全な生活を支えます。

また、すべてを施設整備(ハード対策)のみで対応することは費用的にも時間的にも困難なため、ソフト対策も合わせた、より効率的・効果的な洪水・土砂災害対策を推進します。

■ 水害からまちを守る河川等の整備

- ◇桂川の治水安全度の着実な向上を図るため、上下流バランスを確保しつつ、桂川改修事業を推進します。
- ◇南丹市園部町の中心市街地を流れる園部川について、桂川改修との整合を確保しながら治水安全度の向上を図るため、園部川改修事業を推進します。
- ◇南丹市日吉町を流れる田原川について、周辺の民家や道路の浸水被害を軽減するため、河川改修事業を推進します。
- ◇高屋川と須知川について、水害からまちを守るため、護岸整備等の河川改修により浸水被害を軽減し、治水安全度の向上を図る河川整備を推進します。
- ◇土砂災害から生命・財産を守るため、砂防設備を整備します。
- ◇平成25年9月の台風18号及び平成26年8月の台風11号等による被災状況を踏まえ府民の安心・安全を確保するため、道路や河川、砂防、山林、上下水道、ため池等、災害に強い基盤整備を国及び市町とも連携しながら進めるとともに、大規模災害発生時には府の広域防災活動拠点(丹波自然運動公園)等、取組の充実を図ります。



園部川改修事業



砂防設備の整備



畑川ダム

■ 安心・安全な生活を支える道路ネットワークの整備

- ◇府民の視点から身近な安心・安全を確保する道路整備を行います。
- ◇国道372号、亀岡園部線、枚方亀岡線、茨木亀岡線、国道162号、綾部宮島線や園部平屋線等の整備を進め、原子力災害を含む災害発生時の避難、救助、救急消火活動や避難者への緊急物資の輸送等のルートである緊急輸送道路ネットワークの確保を図ります。
- ◇災害時の代替性確保を図るダブルネットワークを形成します。
- ◇まちづくりと併せた道路整備により、防災性の高い市街地の形成を支援します。
- ◇積雪の多い地域において道路の信頼性を向上し、円滑な通行の確保を図ります。
- ◇バイパスの新設や改良工事により道路の信頼性を向上させ、規制雨量値を変更し、異常気象時の通行規制の解消・緩和を図ります。

◇計画的な予防補修の実施により施設の長寿命化を図り、維持管理・更新費全体のコストを縮減させる等、アセット・マネジメントを推進します。



亀岡園部線(保津南工区)



国道 372 号(湯の花工区)



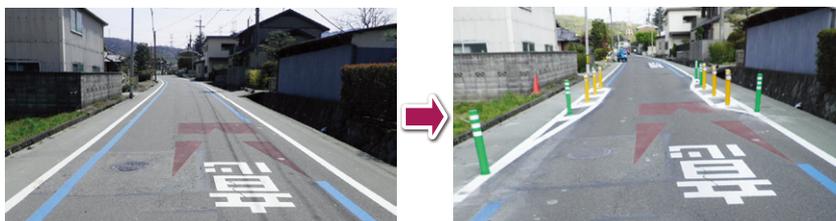
国道 162 号(南丹市美山町盛郷)

■ 森林整備・治山、危険ため池の整備と減災対策、水利施設の長寿命化の推進

- ◇森林の公益的機能を高度に発揮させるため、間伐等の森林整備や治山事業を進めます。
- ◇ため池災害から生命・財産を守るため、ため池整備の推進とハザードマップの作成等のため池の地域防災意識を高め、地域ぐるみで減災防災対策を進めます。
- ◇農業用水利施設、農業集落排水施設等の社会基盤の長寿命化対策を進めます。

■ 府民と一体となった安心・安全な地域づくり

- ◇府民の視点から身近な安心・安全を確保する河川整備を行います。
- ◇危険箇所を周知し、災害に備えるため、土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域の指定を推進します。
- ◇大雨時の災害に備えるため、洪水予報や河川防災カメラ等防災情報の発信・充実に努めます。
- ◇府民の視点から身近な安心・安全を確保する道路整備を進めます。
- ◇通学路指定の有無等地域のニーズを踏まえ、自動車の交通量や人家連担状況等を総合的に勘案し、歩道設置等安全対策を進めます。
- ◇大規模地震に備え、市町と連携し、住宅の耐震化を促進します。



通学路の安全対策(府道王子並河線)

目 標

- 土砂災害防止法による土砂災害警戒区域等の指定箇所の割合 100%(平成28年度)(平成25年度 51%)
- ため池整備による安心安全な地域づくり 12地域(平成25年度 2地域)

(16) 明日の「京都丹波」の礎を築く交流の郷づくり

京都丹波地域は、広大な面積に個性ある地域が混在しています。定住基盤の確立・地域の産業振興、大阪方面や兵庫方面との交流拡大や地域の観光振興等の礎となる基盤を整備するとともに、それぞれの地域がそれぞれの個性をいかし、地域の魅力が光り輝く「交流の郷」づくりを進めます。

■ 明日の「京都丹波」の礎を築く道路整備

- ◇緊急輸送道路ネットワークの確保を図り、安心・安全に住み続けることができる地域の礎を築くとともに、地域産業振興等への寄与や大阪方面との交流拡大が期待できる枚方亀岡線及び茨木亀岡線の整備を検討します。
- ◇災害時等における孤立集落の発生を防止し、安心・安全に住み続けることができる地域を築くとともに、地域の観光振興の礎となって広域的な交流拡大が期待できる京都広河原美山線の整備を検討します。
- ◇土地区画整理事業やほ場整備と一体となった道路整備を進めます。
- ◇地域の賑わいを取り戻すため、中心市街地における面的整備と一体となった道路計画を検討します。



京都広河原美山線(南丹市美山町白石)

■ 明日の「京都丹波」の礎を築く河川整備

- ◇川をいかしたまちづくり、まちをいかした川づくりを進めるため、「保津川かわまちづくり計画」に基づき、にぎわいの拠点整備、高水敷の利活用、保津川の恵まれた自然、沿川の優れた歴史文化に触れる取組を進めます。
- ◇亀岡駅北土地区画整理事業、八木駅西土地区画整理事業等の土地区画整理事業やほ場整備等まちづくりと連携した河川整備を進めます。



保津川まちづくり計画「保津川花回廊」

■ 明日の「京都丹波」の礎を築く交流、定住の促進

- ◇名神高速道路と直結する京都第二外環状道路の供用や、現在進めている国道423号法貴バイパスの整備により、大きな経済圏を形成する阪神地域との道路ネットワークがさらに強化されることから、京都丹波地域への定住の促進が期待されます。そこで、U・I・Jターン等の定住促進のため、まちづくりの主体である市町からの要望を踏まえ、まちづくりに係る線引き制度の見直しや都市計画法の開発許可等事務の権限委譲を市町とともに検討していきます。また、市街化調整区域内の建築許可基準の規制緩和についても検討を進めます。さらに交流促進のため、枚方亀岡線や茨木亀岡線の整備を検討します。

(17) 交流の基盤となる交通ネットワークの整備

京都丹波地域は面積が広大で山間地域が多いため、地域産業を支え、地域活力を支えるためには、道路ネットワークの整備が必要です。

さらに、平成25年9月の台風18号のような災害発生時において、必要とされる道路ネットワークを確保すべく整備を推進し、安心・安全な生活を支えます。また、京都縦貫自動車道の全線開通を契機として、大都市圏へのアクセス道路の整備やJ R山陰本線の利便性向上による物流や交流の基盤整備を図り、地域産業を支えるとともに、地域間の交流を促進します。

このように道路整備等を推進し、国道・府道・市町村道・農道・林道さらには鉄道が一体となって、様々な交流ができる基盤となる交通ネットワークを形成します。

■ 地域の産業を支える、「京都丹波」と大都市圏を結ぶ交通ネットワークの整備

- ◇京都縦貫自動車道の整備効果をいかすため、各インターチェンジへのアクセス道路を整備します。
- ◇国道9号の整備促進を図るとともに、国道9号へのアクセス道路を整備します。
- ◇J R山陰本線の利便性向上を図るため、駅へのアクセス道路を整備します。

■ 地域の活力を支える、地域間を結ぶ道路・地域の実情に合わせた道路の整備

- ◇阪神地域と亀岡市街地を結び、地域振興にも寄与する国道423号を整備します。
- ◇国道162号と国道27号を結び、地域観光にも寄与する綾部宮島線(肱谷バイパス)を整備します。
- ◇亀岡市と南丹市を結ぶとともに「京都丹波」と兵庫県篠山地域を結び、地域観光にも寄与する国道372号を整備します。
- ◇南丹市八木町の桂川左岸地域と市街地を結ぶとともに、国道9号、京都縦貫自動車道とのアクセス強化を図り、地域振興に寄与する国道477号(西田大藪道路)を整備します。
- ◇川東地区と亀岡市街地を結び、地域振興にも寄与する亀岡園部線等を整備するとともに、京都スタジアム(仮称)のアクセス道路となる郷ノ口余部線(宇津根橋)の整備を進めます。
- ◇南丹市北部地域と南丹市街地を結び、地域振興にも寄与する園部平屋線を整備します。
- ◇京丹波三和線、京都日吉美山線や舞鶴和知線等地域の生活道路については、自動車交通量を考慮し、1.5車線の道路整備を推進します。



郷ノ口余部線(宇津根橋)の現状



綾部宮島線
(平成16年台風23号による被災状況)

(18)豊かな自然環境の保全と快適で人にやさしい地域づくり

京都丹波地域は、豊かな自然環境に恵まれるとともに、貴重な景観・観光資源が点在しており、次世代に継承することが望まれています。

地域の自然環境をよりよい形で保全・再生していくために、また、道路・河川をより良好に保全・管理するためにも、府民協働・府民参画による取組を推進します。さらに、府民相互の交流・連携をはぐくみ、地域に親しまれる道路・河川となるよう、地域の自主的な取組を支援します。

また、高齢者や障害のある人が暮らしやすく、日常的に交流できる人にやさしい地域づくりを推進します。

■ 府民協働による道づくり、川づくり

- ◇道路・河川整備に当たっては、説明会や工事見学会、ワークショップ等を通じて、地域住民の意見を聞き、事業への理解をより深められるよう、きめ細かな事業の推進に努めます。
- ◇地域住民とともに良好な地域の道路・河川環境を守るため、「さわやかボランティア・ロード事業」、「南丹ふるさとの川愛護事業」を推進するとともに、相互の交流・連携をはぐくみ、自主的な取組を支援します。
- ◇「府民公募型整備事業」の推進等、生活者・利用者視点の提案を得ることにより、道路・河川整備を行います。
- ◇児童等が安全に通学できるよう、地域住民や地元市町と協働して、幅広く堤防通路においても通学路としての活用を推進します。



小学生を対象にした工事見学会
(教育と土木のコラボ事業)



府民公募型整備事業

■ 豊かな自然を守り継ぐふるさと環境づくり

- ◇天然記念物であるアユモドキをはじめ多くの生物の生息環境の保全再生等、「保津川かわまちづくり」を推進します。
- ◇瀬・淵、河原の再生や魚類の遡上改善等、「美山川・やすらぎの川づくり」を推進します。
- ◇雨水の浸透効果による、地球温暖化の緩和・沿道樹木の灌水効果・河川への流出抑制の効果を備えた透水性舗装等による整備を、市街地部の歩道で推進します。



美山川・やすらぎの川づくり

■ 人にやさしいまちづくり

- ◇高齢者も障害のある人も、安心して生活でき、自らの意思で自由に移動でき、社会参加ができるよう、福祉のまちづくりを推進します。
- ◇医療機関や福祉施設等へのアクセス道路の整備を推進します。
- ◇車椅子駅伝も開催される丹波自然運動公園施設のバリアフリー化等を推進します。

■ 地域主体による地域景観の保全・創造への支援

- ◇良好な景観の形成に必要な施策を実施できるよう、景観行政団体による景観計画策定等を支援します。
- ◇地域の景観づくり活動をはぐくむため、景観資産が広く認識されるよう、広報・啓発に努めます。
- ◇郷土愛をはぐくみ、地域の景観・自然・歴史・文化等をいかした地域活性化を促すため、日本風景街道が広く認識されるよう、広報・啓発に努めます。



京都府景観資産「大野ダムが形づくる水辺景観」